

内閣総理大臣 安倍晋三 殿  
外務大臣 河野太郎 殿

トランプ米政権の「核態勢見直し」(NPR) に追随する日本政府に  
強く抗議します。

2018年2月8日  
非核の政府を求める大阪の会

トランプ政権は2月2日、新たな「核態勢見直し」(Nuclear Posture Review) を公表しました。これに対して我が国の外務大臣はこれを「高く評価する」との見解を發表しました。

世界の先頭に立って核兵器廃絶を訴えるべき立場をかなぐり捨てて、アメリカ政府にひたすら追随する日本政府に対して、私たちは満身の怒りを込めて抗議します。

今回の「見直し」では、小型核兵器の開発を行い、通常兵器への報復にも核兵器使用の検討を行うと明言し、また戦略核兵器の3本柱(潜水艦発射弾道ミサイル、陸上配備型大陸弾道弾ミサイル、戦略爆撃機)の維持・近代化を進めるとしています。また核実験について今後必要が生じた場合は再開もありえるとししました。

どのような小型の核兵器であれ、これを使用するならば、広島・長崎に続く第三の戦争ヒバクシャを生み出します。その非人道性は今や私たち日本人のみならず、世界市民にも広く認識されています。反核兵器の国際世論の高まりから核兵器禁止条約が昨年国連で採決されました。米政府の今回の「見直し」はこのような国際世論に真っ向から対抗するものです。

日本政府は核兵器廃絶を世界の先頭に立って訴えるべき立場にあり、また北朝鮮の核兵器開発に新たな口実を与えかねないこの「見直し」については強く抗議をして、撤回を求めることが当然に求められます。

それをことあるに「高く評価する」と無条件にトランプ政権に追随するのは、被爆者をはじめ、平和を願う日本国民の願いを裏切り、日本の安全をも無条件にトランプ政権に差し出す、あるまじき行為であります。

非核の政府を求める大阪の会は、日本政府に対して、唯一の戦争被爆国の政府として、非人道的兵器である核兵器の保有・使用・核兵器抑止論に固執するトランプ政権に追随することを辞め、今回の「核態勢見直し」の撤回を求めるよう行動することを強く求めるものであります。

以 上